

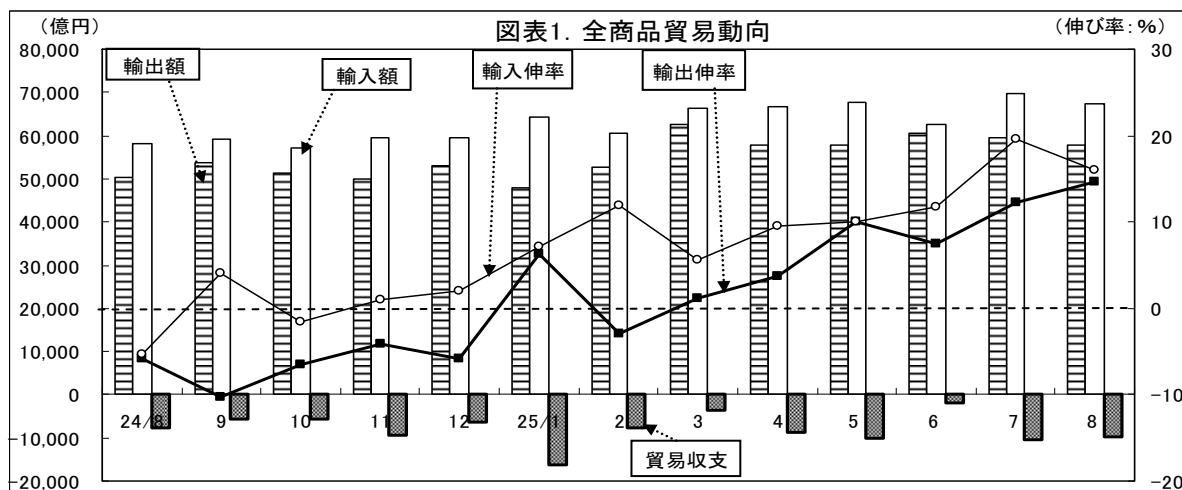
最近の機械貿易動向(8月)～機械輸出、二桁増へ、実質的伸びもプラスへ～

日本機械輸出組合 2013.10.11.

平成25年8月の機械輸出額は3兆6,325億円、対前年同月比11.2%増と4ヶ月連続でプラスとなった。これは、①円安によって円建て輸出額が増加したこと、②米欧を中心に全ての地域向けでプラスになったこと、③機械輸出額の約33%を占める自動車の伸びが18.4%増となったことに加え、産業機械、電子デバイスが二桁増になったことなどによる。為替・営業日が11.1%の増加要因であったことを考慮すると、実質的な伸び率は0.1%と14ヶ月ぶりのプラスとなった。9月も円安が続き、営業日が同じため、合計15.6%の増加要因となる。仮に8月の機械輸出額の実質的伸び(0.1%)が続くとすれば、前年比15.7%増と予想される。10月8日発表の貿易統計速報によれば9月上中旬の全商品の輸出の伸びは17.2%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は2ヶ月連続で二桁増、貿易収支は14ヶ月連続で赤字～

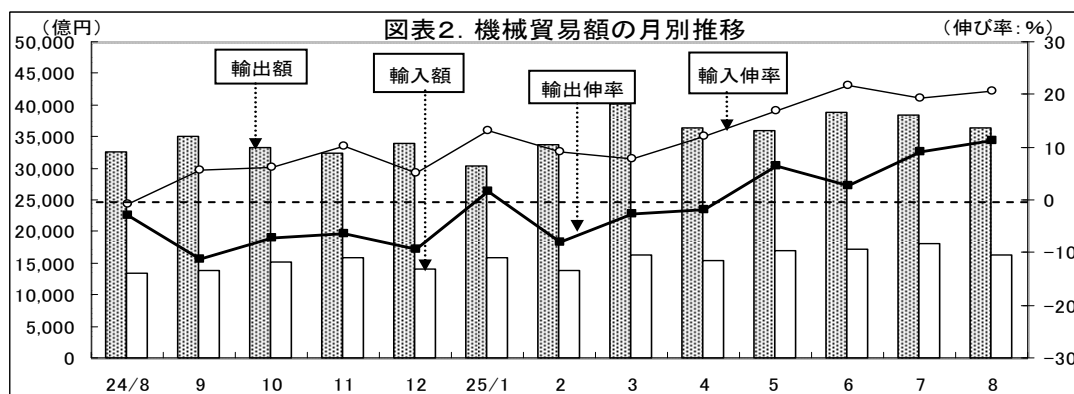
- 平成25年8月の全商品輸出額は**5兆7,829億円**、前年同月比(以下同じ)**14.6%増**と6ヶ月連続でプラスとなった(7月12.2%増)。これは円安による輸出額の拡大と全輸出額の約12%を占める化学製品(25.8%増)、約21%を占める自動車・同部品等輸送用機器(15.2%増)等の増加による。
- 輸入額は**6兆7,458億円**、**16.0%増**と10ヶ月連続のプラスとなった(7月19.6%増)。これは、円安効果に加え、全輸入額の約34%を占める原粗油等鉱物性燃料(17.5%増)、約12%の半導体等電気機器(21.9%増)、約7%の一般機械(21.7%増)、約4%の輸送機器(22.7%増)等が増加したためである。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、輸入が輸出を上回ったために、9,628億円と昨年7月以降14ヶ月連続で貿易赤字となり、8月としては1979年以来最大の赤字となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出4ヶ月連続、輸入は12ヶ月連続で増加～

- 全商品輸出額の約63%を占める8月の機械輸出額は**3兆6,325億円**、**11.2%増**と4ヶ月連続でプラスとなった(7月9.1%増)。輸出額の水準は、リーマンショック前(平成20年8月)と比べると**80.6%**となり、前月より4.4ポイント回復した(7月76.2%)。
- 一方、全商品輸入額の約24%を占める機械輸入額は、**1兆6,262億円**、**20.5%増**と12ヶ月連続の増加で、ここ4ヶ月は20%前後の高い水準となっている(7月19.2%増)。また、輸入額の水準は、リーマンショック以前の**105.1%**と5ヶ月連続して上回っている(7月109.1%)。

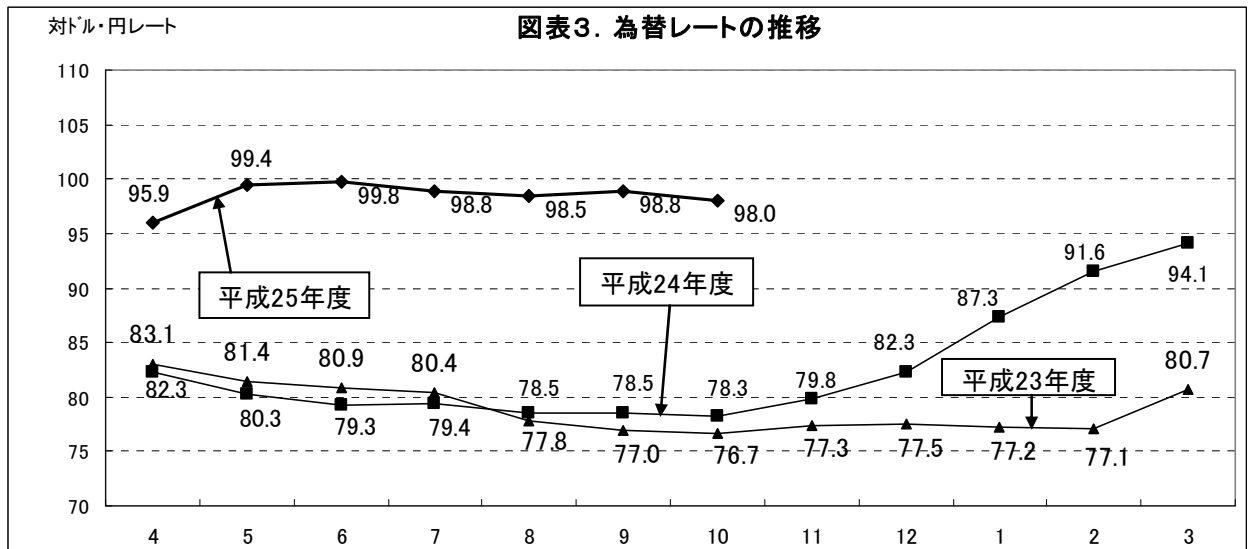


(2) 為替動向・営業日～8月は15.0%の大幅増加要因、9月は15.1%の増加要因～

1) 8月は1ドル=98.5円と円安が続き、前年に比べ25.5%の円安となった。また、対ユーロも130.4円と前年に対して35.3%と円安が進展し、合わせて約15.5%の為替増加要因となった。営業日は前年に比べて1日少ないため4.4%の減少要因となり、増加要因は合計11.1%となる。8月の輸出額は11.2%増であったことから、実質的伸び率は0.1%増と14カ月ぶりのプラスとなった(7月10.0%減)。

2) 9月は1ドル=98.8円と円安が続き、前年に比べ25.9%の円安となった。また、対ユーロでは131.3円で前年に対し32.6%の円安となり、合わせて約15.6%の為替増加要因となった。営業日は同じため、合計15.6%の増加要因となる。

3) 10月は、対ドルが10月1日時点の98円とすれば、前年に比べて25.2%の円安、また、対ユーロも131円と28.9%の円安となり、合わせると約15.1%の為替増加要因となる。営業日は同じため、合計15.1%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～北米、EU、中国向けが二桁増、2ヶ月連続で全ての地域向けがプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①機械輸出額の24.2%を占める北米向けでは、全体の約48%を占める自動車(26.8%増)、工作機械(31.4%増)、医療機械(52.1%増)が増加、17.7%増となった。②10.7%を占めるEU向けは、全体の約31%を占める自動車(27.3%増)をはじめ、分析・試験・検査機(32.5%増)、重電気機械(26.2%増)、工作機械(27.4%増)、医療機械(29.8%増)等が大幅にプラスとなり、15.9%増と3ヶ月連続でプラス。③18.3%を占める中国向けでは、産業機械(18.8%増)、自動車(17.0%増)、電子デバイス(10.9%増)等がプラスとなり、13.2%増となった。④28.3%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けでは、韓国(32.3%増)が4ヶ月連続で10%超増加、シンガポール(14.1%増)、ベトナム(19.2%増)向けが二桁増となり、業種では、産業機械(12.1%増)、電子デバイス(13.5%増)、重電気機械(18.1%増)等が大幅増となって8.7%増となった。⑤18.4%を占めるその他地域向けは、インド(13.0%減)、中南米(10.0%減)が大幅減となったものの、アフリカ(20.9%増)、中近東(16.2%増)が大幅増となり、機種では、全体の約59%を占める自動車(15.3%増)、繊維機械(78.8%増)等が大幅にプラスとなって2.9%増となった。

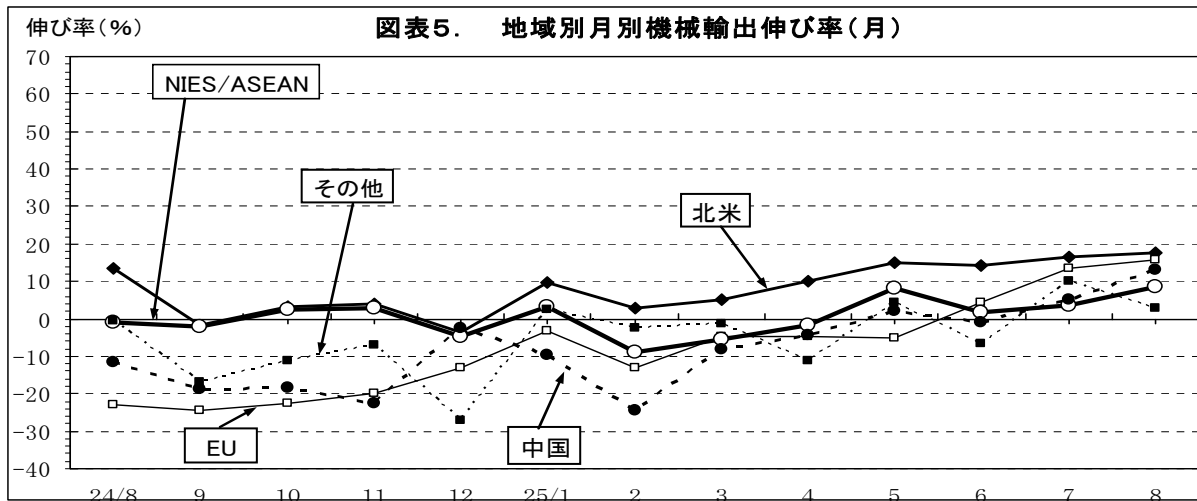
2) また、リーマンショック前の平成20年8月の地域別輸出額と比較すると、北米(103%)、中国(101%)が水準を超えたものの、NIES/ASEANが85%、その他地域が62%、EUは55%と低い水準であった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2013/6			2013/7			2013/8			対08年 8月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	38,783	2.6	100	38,378	9.1	100	36,325	11.2	100	0.81
北米	9,635	14.3	24.8	9,294	16.5	24.2	8,803	17.7	24.2	1.03
EU	3,948	4.5	10.2	4,072	13.2	10.6	3,886	15.9	10.7	0.55
NIES/ASEAN	10,983	1.8	28.3	10,264	3.5	26.7	10,294	8.7	28.3	0.85
中国	6,391	▲ 0.9	16.5	6,568	5.1	17.1	6,641	13.2	18.3	1.01
その他	7,826	▲ 6.5	20.2	8,180	10.0	21.3	6,702	2.9	18.4	0.62

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2013/5		2013/6		2013/7		2013/8	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,798	17.5	1,799	14.0	1,939	23.6	1,974	32.3
台湾	1,769	15.9	1,894	12.2	1,560	0.6	1,564	2.5
香港	1,649	28.2	1,674	2.4	1,601	11.8	1,593	9.8
タイ	1,741	▲ 0.1	2,030	1.1	1,895	1.0	1,770	▲ 0.8
シンガポール	807	▲ 5.0	917	▲ 13.9	807	0.7	848	14.1
インドネシア	826	▲ 12.3	955	▲ 6.5	752	▲ 12.5	893	9.4
マレーシア	629	▲ 9.3	701	▲ 11.6	660	▲ 7.7	629	▲ 10.0
フィリピン	500	▲ 3.5	518	▲ 7.0	528	▲ 6.6	506	1.5
ベトナム	401	47.4	385	7.0	423	▲ 7.3	423	19.2
その他地域								
中南米	2,690	28.0	2,372	▲ 19.8	2,931	24.6	1,840	▲ 10.0
中近東	1,440	9.6	1,594	7.8	1,633	15.6	1,430	16.2
大洋州	1,029	▲ 3.7	1,327	9.8	1,172	7.7	1,137	8.8
ロシア東欧等	1,119	0.2	1,270	2.6	1,253	▲ 5.5	1,160	2.6
アフリカ	555	▲ 38.6	697	▲ 26.8	716	▲ 1.1	642	20.9
インド	325	▲ 12.4	400	▲ 0.6	389	▲ 13.9	365	▲ 13.0

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～19業種中5業種がマイナス、自動車は5ヶ月連続、産業機械は4ヶ月連続プラス～

- 業種別では、全19業種中5業種がマイナスで、前月に比べ2業種増加した(7月3業種)。全体の約33%を占める自動車(18.4%増)が5ヶ月連続、約18%を占める産業機械(10.7%増)が4ヶ月連続でプラスとなったほか、繊維機械が7ヶ月連続、電子デバイスが5ヶ月連続、医療機械が4ヶ月連続、電子計算機が3ヶ月連続で二桁増となり、光学機械、軽機械、通信機械、農業機械も二桁増となった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは医療機械、繊維機械、光学機械、ベアリングの4業種で、他方、電子計算機は40%台、産業車両、民生用電子機械、通信機械、船舶、建設機械は50%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位: 億円、%)

機種名	2013/6			機種名	2013/7			機種名	2013/8			対08/7比
	金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア	
自動車	13,469	9.2	34.7	自動車	13,596	13.6	35.4	自動車	12,141	18.4	33.4	0.84
産業機械	6,534	4.9	16.8	産業機械	6,502	12.3	16.9	産業機械	6,424	10.7	17.7	0.86
電子デバイス	3,147	11.4	8.1	電子デバイス	3,139	14.8	8.2	電子デバイス	3,203	13.2	8.8	0.73
軽電気機械	1,979	2.9	5.1	軽電気機械	1,980	7.7	5.2	軽電気機械	1,959	8.8	5.4	0.80
重電気機械	1,939	3.2	5.0	重電気機械	1,856	4.3	4.8	重電気機械	1,860	9.7	5.1	0.91
民生用電子機械	1,625	▲ 14.0	4.2	船舶	1,684	17.3	4.4	民生用電子機械	1,696	▲ 2.6	4.7	0.52
船舶	1,558	▲ 40.4	4.0	民生用電子機械	1,558	▲ 10.2	4.1	光学機械	1,447	10.4	4.0	1.08
軽機械	1,507	7.2	3.9	軽機械	1,387	2.9	3.6	軽機械	1,416	11.0	3.9	0.84
光学機械	1,347	7.0	3.5	光学機械	1,324	4.6	3.4	船舶	891	▲ 20.2	2.5	0.57
建設機械	1,060	▲ 14.3	2.7	建設機械	1,011	▲ 10.2	2.6	建設機械	827	▲ 12.5	2.3	0.58
工作機械	688	▲ 19.6	1.8	工作機械	703	▲ 26.5	1.8	工作機械	745	▲ 19.8	2.1	0.98
電子計算機	489	21.3	1.3	電子計算機	460	24.0	1.2	通信機械	485	32.9	1.3	0.56
通信機械	464	8.0	1.2	通信機械	400	3.0	1.0	電子計算機	470	29.9	1.3	0.46
ベアリング	397	2.3	1.0	ベアリング	393	7.4	1.0	ベアリング	364	9.8	1.0	1.04
医療機械	389	25.3	1.0	医療機械	330	14.5	0.9	医療機械	352	29.5	1.0	1.41
陸用内燃機関	347	0.9	0.9	陸用内燃機関	330	5.5	0.9	陸用内燃機関	326	6.0	0.9	0.88
繊維機械	212	38.9	0.5	繊維機械	226	55.9	0.6	繊維機械	194	42.1	0.5	1.20
農業機械	171	8.4	0.4	農業機械	154	13.2	0.4	農業機械	150	20.5	0.4	0.80
産業車両	130	8.3	0.3	産業車両	128	0.0	0.3	産業車両	107	▲ 1.0	0.3	0.50
19業種合計	37,452		96.6	19業種合計	37,161		96.8	19業種合計	35,057		96.5	0.79

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD、プリンター等部品。

軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～繊維機械、原動力機械等が大幅増加、発電機、船舶等は大幅減～

1) 8月で10%以上の伸び率を示した機種は、①中国、その他地域、NIES/ASEAN向け**繊維機械**(42.1%増)、②NIES/ASEAN、中国向け**原動力機械**(36.2%増)、③NIES/ASEAN、北米、中国向け**通信機械**(32.9%増)、④北米、NIES/ASEAN、中国向け**電子計算機**(29.9%増)、⑤北米、EU、中国向け**医療機械**(29.5%増)、⑥北米、その他地域(主に中近東、大洋州、ロシア向け)向け**乗用車**(23.4%増)、⑦北米、NIES/ASEAN、中国向け**産業用ロボット**(23.2%増)、⑧北米、EU向け**TV**(22.1%増)、⑨北米向け**農業機械**(20.5%増)、⑩NIES/ASEAN、中国向け**バルブ・コック**(18.4%増)であった。

2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、発電機(25.3%減)、船舶(20.2%減)、工作機械(19.8%減)、電子応用装置(17.1%減)、金属加工機械(16.0%減)、デジカメ・ビデオ(12.7%減)、建設機械(12.5%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2013/6			2013/7			2013/8		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
運搬機械	302	39.5	繊維機械	226	55.9	繊維機械	194	42.1
繊維機械	212	38.9	半導体製造装置	1,217	33.6	原動力機械	539	36.2
TV	85	27.2	TV	83	24.9	通信機械	485	32.9
原動力機械	369	26.8	風水力機械	726	24.8	電子計算機	470	29.9
医療機械	389	25.3	電子計算機	460	24.0	医療機械	352	29.5
電池	208	23.9	電池	215	19.3	乗用車	6,818	23.4
電子計算機	489	21.3	電子応用装置	64	18.3	産業用ロボット	100	23.2
半導体製造装置	1,151	16.9	船舶	1,684	17.3	TV	84	22.1
乗用車	7,826	15.1	乗用車	7,967	17.0	農業機械	150	20.5
電子デバイス	3,147	11.4	電子デバイス	3,139	14.8	バルブ・コック	371	18.4
機種合計	14,178	36.6%	機種合計	15,781	41.1%	機種合計	9,563	26.3%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2013/6			2013/7			2013/8		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
船舶	1,558	▲ 40.4	発電機	73	▲ 57.0	発電機	91	▲ 25.3
デジカメ・ビデオ	512	▲ 35.9	デジカメ・ビデオ	484	▲ 31.3	船舶	891	▲ 20.2
発電機	102	▲ 29.7	工作機械	703	▲ 26.5	工作機械	745	▲ 19.8
電子応用装置	37	▲ 20.6	録画・再生機器	10	▲ 18.3	電子応用装置	40	▲ 17.1
工作機械	688	▲ 19.6	エアコン	8	▲ 12.0	金属加工機械	302	▲ 16.0
建設機械	1,060	▲ 14.3	建設機械	1,011	▲ 10.2	デジカメ・ビデオ	552	▲ 12.7
機種合計	3,957	10.2%	機種合計	2,289	6.0%	建設機械	827	▲ 12.5
						機種合計	3,448	9.5%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内

(6) 機械輸入動向～電子デバイス、電子計算機、乗用車が大幅増、光学機械が大幅減～

1) 8月の機械輸入伸び率は20.5%増と12ヶ月連続でプラスとなり、円安効果と国内需要増を反映してここ5ヶ月の伸び率が高い。これは、最大輸入機種の電子デバイス(44.9%増)が9ヶ月連続、白物家電(22.1%増)が8ヶ月連続、分析・試験・検査機(26.4%増)が5ヶ月連続、電子計算機(12.8%増)、医療機械(12.1%増)、が3ヶ月連続二桁以上増であることに加え、航空機類(40.2%増)、自動車部品(31.7%増)、風水力機械(26.9%増)、民生用電子部品(21.7%増)、携帯電話(10.4%増)の2桁以上の増加が大きく影響したためである。他方、減少したのは光学機械(10.7%減)等であった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、白物家電、医療機械、TV、時計、ラジオ、録画・再生機器となっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の39%を占める中国(21.1%増)、EU(19.9%増)、北米(19.9%増)、ASEAN(17.7%増)、韓国・台湾(17.1%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2013/6				2013/7				2013/8			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,190	45.4	12.7	電子デバイス	2,206	41.0	12.2	電子デバイス	2,149	44.9	13.2
電子計算機	1,790	19.0	10.4	電子計算機	1,982	24.8	11.0	電子計算機	1,599	12.8	9.8
携帯電話	1,262	76.2	7.3	乗用車	1,066	40.8	5.9	乗用車	881	1.4	5.4
航空機類	891	▲ 31.9	5.2	自動車部品	959	9.7	5.3	自動車部品	864	31.7	5.3
白物家電	867	13.6	5.0	白物家電	865	24.5	4.8	携帯電話	700	10.4	4.3
乗用車	794	15.8	4.6	航空機類	661	61.9	3.7	航空機類	630	40.2	3.9
自動車部品	774	14.7	4.5	携帯電話	646	▲ 25.1	3.6	白物家電	613	22.1	3.8
医療機械	541	20.4	3.1	医療機械	581	12.8	3.2	医療機械	546	12.1	3.4
光学機械	330	▲ 0.7	1.9	光学機械	396	1.5	2.2	民生用電子部品	363	21.7	2.2
民生用電子部品	314	▲ 3.5	1.8	民生用電子部品	375	▲ 1.1	2.1	分析・試験・検査機	320	26.4	2.0
原動力機械	308	154.8	1.8	風水力機械	336	36.1	1.9	光学機械	309	▲ 10.7	1.9
分析・試験・検査機	298	12.6	1.7	分析・試験・検査機	335	31.8	1.9	風水力機械	261	26.9	1.6
12機種合計	10,359		60.2	12機種合計	10,408		57.8	12機種合計	9,235		56.8

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械